



ル議員、同国  
環境省のオ  
スターマイ  
ヤー・シユレ  
ッター博士、  
同自然保護



ドイツ議員来訪

生物多様性条約  
第 10 回締約国  
会議 (COP10)



十八日、ドイツ連邦共和国議会で  
環境委員を勤めるヨーゼフ・ゲツペ

庁のベアトリクス・タバサー博士が  
愛知県農林水産部局、新城市地域整  
備課の随行で訪れた。

四谷の千枚田は鞍掛山の湧き水  
を源に、寒暖の差を利用した「はざ  
干し」でおいしいお米を収穫。最近  
ではモリアオガエルやドジョウ、タ  
ニシなど、生物と共生した体に優し  
い米作りを目指している。等々の説  
明にゲツペル議員は自ら田んぼの  
土を手に取り「すばらしい」を連発。  
また、多面的機能を有す棚田や里山  
の貴重さと、保全活動の重要性を訴  
えた。通訳を介しての説明であつた  
が、心の通じたひとときであり、環  
境大国であるドイツ連邦共和国の  
皆さんに環境に優しい S A T O Y  
A M A 「四谷の千枚田」の案内役を  
無事、果たせたことは一生の思い出  
でもある。

公式エクスカージョン

二十三日、東海農政局主催による  
C O P 1 0 公式エクスカージョンに  
世界十五カ国、二十一名が訪れた。  
一行は「やまびこの丘」で穂積市  
長の挨拶、山吉田小学校児童の子ど  
も陣太鼓による歓迎セレモニーを  
受けた。子どもたちは十五カ国の皆

さんに国際発信(披露)できたことや、  
一緒に記念写真を撮ったりしたこと  
とはよい思い出づくりであった。昼  
食はレストラン「花遊」で特別メニ  
ュー「里山御膳」になれない箸で舌  
鼓をうった。



千枚田へ降り立った一行は山裾  
に広がった棚田に圧巻の歓声があ  
がった。これからが大変…。里山  
の持つ多面的機能「湧き水・天日干  
し、生きものと共生した体に優しい  
米作り、棚田全部がビオトープと位  
置づけている」、文化、歴史、都市  
交流(山都共生の理念)等々の説明  
に興味を持った質問責めに歩が進  
まなく、主催者側はオロオロ。やつ

と、ふれあい広場に到着。心地よい  
風と眼下に広がる棚田に、またまた  
歓声。この、生物多様性に富んだす  
ばらしい棚田(景観を守る農民の辛  
苦に敬意、行政支援は…)等々の質  
問攻めに通訳さんも真剣に対応。(通  
訳さんは案内役の三河弁に一番困  
ったようであった。)最後にフラン  
スのメディアから里山の意義、位置  
づけの取材があつた。  
一行は、新城市立鳳来寺山自然科  
学博物館、JA こんたく長篠を見学  
し、帰路についた。

生物多様性バスツアー

二十三日、東三河自然環境ネット  
主催の東三河生物多様性バスツア  
ーの一行三十五名が千枚田を訪れ  
た。



## 棚田サミット

十月二十二日～二十三日、静岡県松崎町を会場に第十六回全国棚田サミットが**棚田を結ぶふるさと**の絆（みんをくわろう）百笑の里をテーマに開催され、四谷の千枚田から林 義明副会長始め総勢十三名が参加。全国の棚田関係者や百姓連中と忌憚のない意見交換を行い、それぞれが大きな収穫を得た。特に、川勝静岡県知事の基調講演（川勝節）は熱意のある講演で印象に残った。



2010.10.2

## 横浜ゴムへ蕁出荷

CO2削減に取り組む横浜ゴム新城工場は環境に優しく育てられた千枚田の稲藁をドンダリの育苗や植樹に役立てて頂いている。生産性の低い棚田の百姓は横浜ゴムのおかげで「旨いおかずが買える…」と大喜びである。



## ふるさとウォーキングと グラウンドゴルフ

十月二十四日、連谷地区の公民館と連谷小学校が連携した、恒例のふるさとウォーキングが大勢の参加のもと、地元の知識者丸山敦志さんの案内で小学校を出発↓合戸↑上

六↓十王堂↓かしゃげ峠↓ふれあい広場↓小学校のコースで行われた。

ウォーキングに出かけている間に公民館の役員などが運動場で昼食の準備を進め、空腹で帰ってくるウォーキング参加者にシシ汁や味飯がふるまわれた。

午後はグラウンドゴルフ大会で、一チーム六人の七グループで行った。一位は、経験豊かな年寄りです、上位三位もほとんど年寄りばかりで締め、老人パワーを見せつけた。

## 第十八回 三遠南信サミット

### ・南信州

テーマ 地域主権時代における県境地域連携モデルの推進と融合に向けた自発的な地域づくりの実践と、題して十一月十二日、飯田文化会館・シルクホテルを会場に開催され、小山舜二が出席。南信州、遠州、三河を結ぶ地域活性化「むらづくり」など、有意義な情報収集を得ることができた。

## 千枚田で観察会

十一月十四日、愛知県自然観察連絡協議会奥三河支部（奥三河自然保護研究会）主催の観察会「秋の千枚田を観察しよう」が開催され、参加者は自然豊かな四谷の千枚田周辺を堪能した。

## 地域環境整備活動

十一月二十一日（日曜日）、連谷お助け隊主催・保存会協力で四谷大林地内を中心に市道、生活道などの環境整備を行う。すでに、方瀬集落、松下集落は一昨年、昨年に実施済みで、地域から大変喜ばれている。  
（あいち森と緑づくり事業）

## 田吾作の餅つき大会

耕作放棄地の解消を主眼に地元耕作者（代表 小山秀夫）で活動する「田吾作」は収穫感謝祭として十二月五日（日曜日）、餅つき大会を開催する。当日は、つきたての餅も振る舞われ湧き水、天日干しの餅米、うるち米も販売される。

参加自由。  
イノシシ、サルの出没

今年、イノシシもサルも質が悪く、収穫直前の農作物を荒らし、あぐくに道端まで穴だらけにした。対策もなく、お手上げ状態である。



行 平成二十二年十一月十五日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
文責 小山舜二